

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先（照会先）	☎ 0120-782-031 受付時間：土・日・祝祭日を除く9：00～17：00
単元株式数	100株
証券コード	2060
公告方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載のホームページアドレス <a href="http://www.feed-one.co.jp/">http://www.feed-one.co.jp/</a>

## ホームページのご紹介

当社はホームページを重要な情報発信源のひとつとしており、決算情報や商品情報などを適宜掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

フィード・ワン

検索

<http://www.feed-one.co.jp/>

# BUSINESS REPORT

## 第2期 報告書



## INDEX

01 ごあいさつ 02 当期の概況 03 IR情報 05 トピックス 06 CSRレポート 07 連結財務諸表 09 会社情報／株式情報 10 第2期定時株主総会決議ご通知

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の第2期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は原料調達・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給する製品の品質・サービスの向上、コスト低減などの取り組みを進めてまいりました。

当期の概況は次にご報告の通りですが、今後も業界全体の持続的成長に貢献する配合飼料業界のリーディングカンパニーを目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月



代表取締役社長  
山内 孝史

代表取締役会長  
弦巻 恒三

- 経営理念**
- Mission** Feedをはじめの一步として、畜・水産業界の持続的発展に貢献し、食の未来を創造します
  - Vision** 食の安心と感動を与え続ける企業を目指します
  - Values**
    - 常に顧客・消費者の目線でニーズ・課題を捉え、問題解決に取り組みます
    - 安心安全な食の提供に向けて、コンプライアンス経営を徹底します
    - 高い専門性を持ち、時代の変化を捉えて常にチャレンジする人材を育成します
    - 「思いやりを持つこと」「Fairであること」「謙虚であること」を常として、社会の信頼に真摯に応えます

当連結会計年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）のわが国経済は、輸出企業を中心に業績の改善傾向が見受けられましたが、中国等の新興国や米国における景気減速等の影響により株価下落や為替が円高傾向となり、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

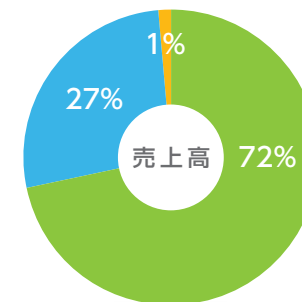
飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこしは主産地の米国での豊作を受けて値下がりし、一定の価格の幅の中で弱含みに推移しました。また、大豆粕は米国、南米とも大豆が豊作となり搾油が順調であったことから、軟調に推移した結果、畜産用配合飼料価格を3度に亘って値下げをしております。一方、魚粉はペルー沖でのエルニーニョの影響による資源量減少から高値基調となりました。

畜産物につきましては、豚肉相場は出荷頭数の回復等により一時期の高値傾向からは徐々に落ち着きを取戻して推移しました。一方、牛肉相場は出荷頭数が減少していること、鶏卵相場においても需要が底堅いことからそれぞれ高値で推移しております。

こうした環境にあって、当社グループは3ヶ年の中期経営計画の初年度として、原料調達・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給す

セグメント別売上高構成比

単位：億円（単位未満切捨）



- 飼料事業** 販売数量伸長や新製品発売によるものです。
- 食品事業** 畜産物相場が堅調に推移したこと等によるものです。
- その他** 特約店、畜産・水産生産者への畜水産機材等の販売によるものです。

飼料事業	1,641億円
食品事業	617億円
その他	30億円

る製品の品質・サービスの向上、コスト低減などの取り組みを進めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、売上高は2,289億3百万円（前年同期比37.0%増）、営業利益は34億9千2百万円（前年同期比20.2%増）、経常利益は37億3千4百万円（前年同期比32.9%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は23億8百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

# セグメント別の事業概況

平成28年3月期概況

## 飼料事業



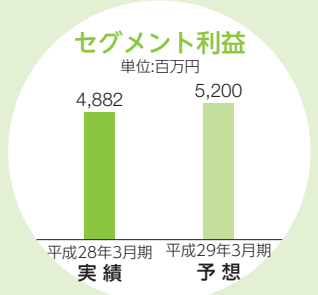
飼料事業については、営業活動の拡大により販売数量が増加したものの、畜産用配合飼料における3度の値下げにより販売価格が低下し、売上高は減収となりました。一方、仕入コストや製造コストの低減等統合シナジー効果が発現し、セグメント利益は48億8千2百万円となりました。

山内社長より  
今後の展望について一言



平成29年3月期展望

農林水産省統計によれば、平成27年度飼料流通量は平成17年度対比2.7%減少しており、飼料業界は今後更なる競争の激化が想定されます。このような環境において当社は、統合による営業力の強化を糧に、平成29年3月期は畜産用配合飼料で前期比+4.7万t、水産用配合飼料で+1.3万tの販売拡大、またコスト削減等により増収増益を図ってまいります。なお、具体策の一つとして、研究開発力の更なる強化によりフィード・ワン新ブランド製品の発売を実行してまいります。

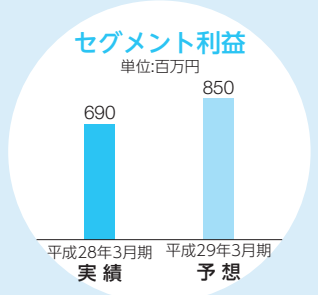


## 食品事業



食品事業については、子会社の売却を行ったこと等から売上高は減収となりました。食品販売においては取引先との販売条件見直しやブランド畜産物の販売強化、農場子会社においては生産効率の改善を主体に収益の向上に努め、セグメント利益は6億9千万円となりました。

食品事業については、業界規模が大きくニーズも多様化していく中、平成29年3月期は商品構成の見直し等により、収益力の向上を図ってまいります。更に取り扱アイテム数の増加、新たなブランド畜産・水産物の創出により提案・販売力を強化し、当社グループ独自の生産から販売まで一貫したフードバリューチェーン構築により、価値ある食品を皆様の食卓にお届けしていきたいと思っております。

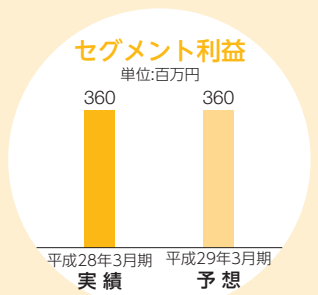


## その他



その他事業は、飼料事業に付随した関連機材等の販売及び不動産賃貸等の事業を行っております。畜産・水産生産者への関連機材の販売が拡大し、また不動産賃貸収入も増加した結果、セグメント利益は3億6千万円となりました。

畜産・水産生産者への関連機材については、品揃えやサービスを向上させ、飼料販売とあわせて相乗的な販売機会を創出してまいります。





## インドにて水産飼料工場竣工

フィード・ワンは中期経営計画において畜産飼料、水産飼料、食品事業、海外事業を4本柱とする収益の最大化を目指しています。

その中で海外事業のさらなる拡大を目的として、新

たにインド西ベンガル州で現地企業Shalimar Groupと共同で水産飼料専門メーカーNippai Shalimar Feeds Private Limitedを設立、本年3月に工場が竣工致しました。

### 新工場のターゲット

- 1 インドでは人口増加に伴い、年々水産物の市場規模が拡大しており、現在では中国に次いで世界第2位の水産養殖生産量となっています。
- 2 特に当工場が位置する西ベンガル州では、淡水魚の養殖が盛んに行われていますが、未だ配合飼料の普及率は低い状況です。今後は効率的生産ニーズの拡大に伴い、配合飼料需要の増加が見込まれます。
- 3 当工場では淡水魚用・エビ用の配合飼料を中心に製造・販売を行い、将来的には売上高40億円の水準を目指しています。  
従業員数：30名（将来的には100名を予定）



## Shokukiku Program



- 本年2月に品川女子学院様のご協力のもと、同校クッキング部で食育プログラムを開催しました。



- お肉の成り立ちや国産、輸入品の違いから栄養までの講習と国産畜産物を使用した調理実習を行いました。
- 普段何気なく口にしているお肉について、興味と知識を深めていただき、参加された学生の皆様にも好評でした。

- 当社は将来の日本の食文化を担う子供達を対象に、このような草の根活動を継続的に行うことで、国産畜・水産物への正しい理解・知識を広めていきたいと思っています。





# 連結財務諸表

FEED ONE Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	57,633	51,074
固定資産	33,194	31,614
有形固定資産	21,198	21,158
無形固定資産	468	346
投資その他の資産	11,527	10,109
資産合計	90,827	82,688

※1「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「少数株主持分」は「非支配株主持分」に名称が変更になりました。

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	45,873	42,876
固定負債	18,644	12,513
負債合計	64,517	55,389
<b>純資産の部</b>		
株主資本	25,016	26,733
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	10,481	10,481
利益剰余金	4,572	6,289
自己株式	△ 37	△ 37
その他の包括利益累計額	1,021	231
非支配株主持分 ※1	271	334
純資産合計	26,309	27,298
負債及び純資産合計	90,827	82,688

## 連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期 ※2	当期
	平成26年4月 1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月 1日から平成28年3月31日まで
売上高	167,028	228,903
売上原価	149,617	204,769
売上総利益	17,411	24,134
販売費及び一般管理費	14,505	20,641
営業利益	2,905	3,492
営業外収益	471	713
営業外費用	567	471
経常利益	2,809	3,734
特別利益	319	390
特別損失	428	753
税金等調整前当期純利益	2,700	3,371
法人税、住民税及び事業税	211	403
法人税等調整額	557	596
当期純利益 ※3	1,930	2,371
非支配株主に帰属する当期純利益 ※4	24	62
親会社株主に帰属する当期純利益 ※5	1,906	2,308

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	平成27年4月 1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月 1日から平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,176	6,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,484	△ 2,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	600	△ 4,397
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	292	△ 358
現金及び現金同等物の期首残高	1,120	2,178
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増減額	765	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,178	1,819

※ 2 前期及び前期末は日本配合飼料株式会社の前連結会計年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の連結経営成績を基礎に、協同飼料株式会社及びその他の関係会社の前第3四半期連結会計期間及び前第4四半期連結会計期間(平成26年10月1日から平成27年3月31日まで)の連結経営成績を連結したものととなります。

※ 3.4.5 「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「少数株主損益調整前当期純利益」は「当期純利益」に名称が変更となり、「少数株主利益」は「非支配株主に帰属する当期純利益」に名称が変更となり、「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」に名称が変更になりました。

**会社の概況** (平成28年3月31日現在)

商号	フィード・ワン株式会社
設立	平成26年10月1日
資本金	10,000百万円
本店所在地	横浜市神奈川区鶴屋町二丁目23番地2
従業員数	921名(連結)
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
決算期	3月31日
グループの 主な事業内容	配合飼料の製造・加工・販売、 畜水産物の仕入・生産・加工・販売等

**役員** (平成28年6月29日現在)

代表取締役会長	弦巻 恒三
代表取締役社長	山内 孝史
取締役	酒井 透
取締役	古賀 靖
取締役	野口 隆
取締役	齋藤 俊史
取締役	畠中 直樹
取締役(社外)	岡田 康彦
取締役(社外)	石塚 章夫
取締役(社外)	山田 重人
常勤監査役	臼杵 静雄
常勤監査役	熊谷 和彦
常勤監査役(社外)	吉村 博美
監査役(社外)	椿 勲

**株式の状況** (平成28年3月31日現在)

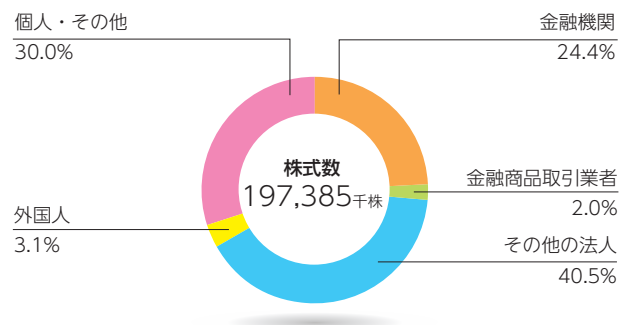
発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式総数	197,385,640株
株主数	17,490名

**大株主の状況** (平成28年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	49,192	24.96
有限会社大和興業	5,734	2.91
株式会社横浜銀行	5,578	2.83
ケイヒン株式会社	5,235	2.66
東京海上日動火災保険株式会社	4,287	2.18
農林中央金庫	4,202	2.13
朝日生命保険相互会社	4,019	2.04
株式会社みずほ銀行	3,603	1.83
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,360	1.71
株式会社ヨンキウ	3,000	1.52

(注)持株比率は自己株式(329,876株)を除いて計算しております。

**株式分布状況** (平成28年3月31日現在)



証券コード 2060  
平成28年6月29日

株主各位

横浜市神奈川区鶴屋町二丁目23番地2

**フィード・ワン株式会社**

取締役社長 山内 孝史

## 第2期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第2期定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたのでご通知申し上げます。

敬具

記

- 報告事項**
- 第2期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  - 第2期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。

**決議事項**

**第1号議案 剰余金処分の件**

本件は、原案のとおり承認可決され、本年の配当金額は普通株式1株につき普通配当が3円、記念配当が1円の計4円となりました。

**第2号議案 取締役10名選任の件**

本件は、原案のとおり承認可決され、当社の役員体制は次のとおりとなります。  
同一一致協力し、社業の発展に邁進してまいります。

代表取締役会長	弦巻 恒三	代表取締役社長	山内 孝史
取締役	酒井 透	取締役	古賀 靖
取締役	野口 隆	取締役	齋藤 俊史
取締役	畠中 直樹	社外取締役	岡田 康彦
社外取締役	石塚 章夫	社外取締役	山田 重人(新任)
常勤監査役	臼杵 静雄	常勤監査役	熊谷 和彦
常勤社外監査役	吉村 博美	社外監査役	椿 勲

以上